



2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

GMB株式会社

東証スタンダード市場

証券コード：7214

<https://www.gmb.jp>

I. 2025年3月期第2四半期実績

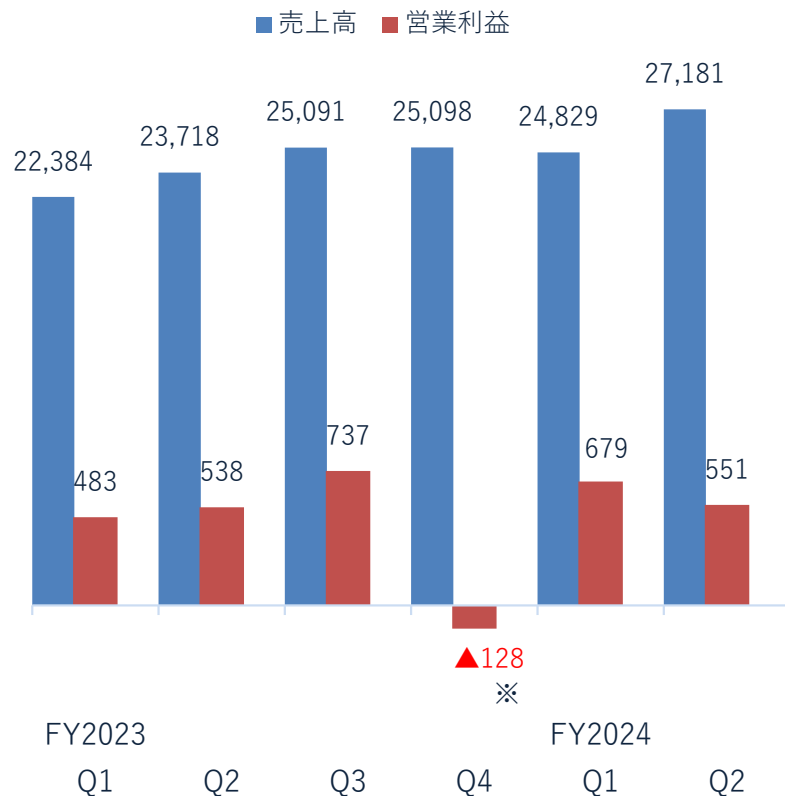
II. 2025年3月期通期計画

2025年3月期第2四半期 連結業績



- インテグレートッド・サーマル・モジュールなど冷却装置部品に加えて、バルブスプールなどの駆動・伝達及び操縦装置部品を中心に新車用部品の販売が拡大し、売上高は12.8%増収
- 生産性改善やコスト削減努力も加わり粗利率は改善し、販管費増加を吸収して営業利益は増益
- 為替差益の減少などによって経常利益以下は減益

直近の四半期業績推移



※FY2023.Q4は期末の特殊要因として退職給付債務の数理計算上の差異による約11億円の費用を計上

(単位：百万円)

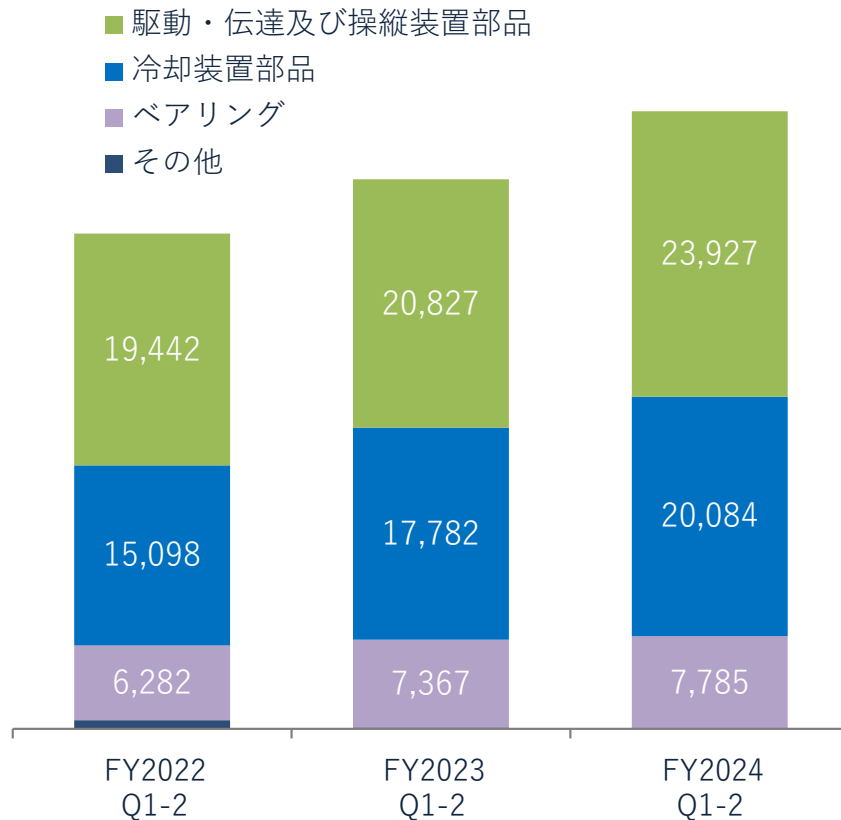
	FY2023 Q1-2	FY2024 Q1-2	前期比 (増減率)
売上高 (同利益率)	46,102 (100.0%)	52,010 (100.0%)	5,907 (12.8%)
売上総利益 (同利益率)	8,026 (17.4%)	9,244 (17.8%)	1,218 (15.2%)
営業利益 (同利益率)	1,021 (2.2%)	1,230 (2.4%)	208 (20.4%)
経常利益 (同利益率)	1,488 (3.2%)	1,387 (2.7%)	▲101 (▲6.8%)
四半期純利益 (同利益率)	819 (1.8%)	424 (0.8%)	▲395 (▲48.3%)

連結売上高

- 駆動・伝達及び操縦装置部品は、欧州の新車用部品市場におけるユニバーサルジョイント、及び韓国・中国の新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が増加
- 冷却装置部品は、韓国・中国でインテグレートッド・サーマル・モジュールなどの電動化対応製品の販路拡大、及び欧州で新車用部品市場におけるウォーターポンプの販売が増加

品目分類別の推移

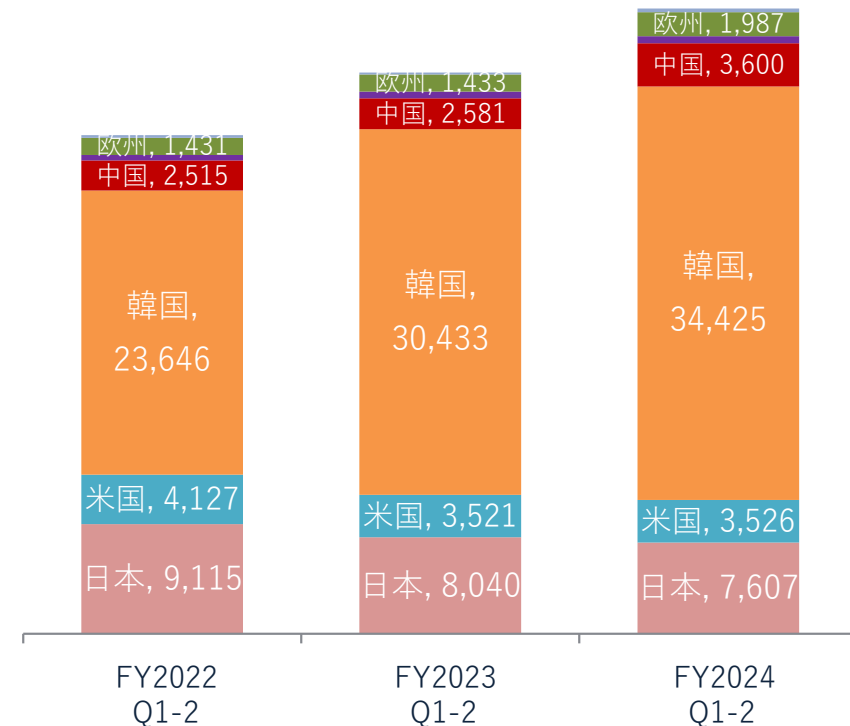
(単位：百万円)



所在地セグメント別の推移

(単位：百万円)

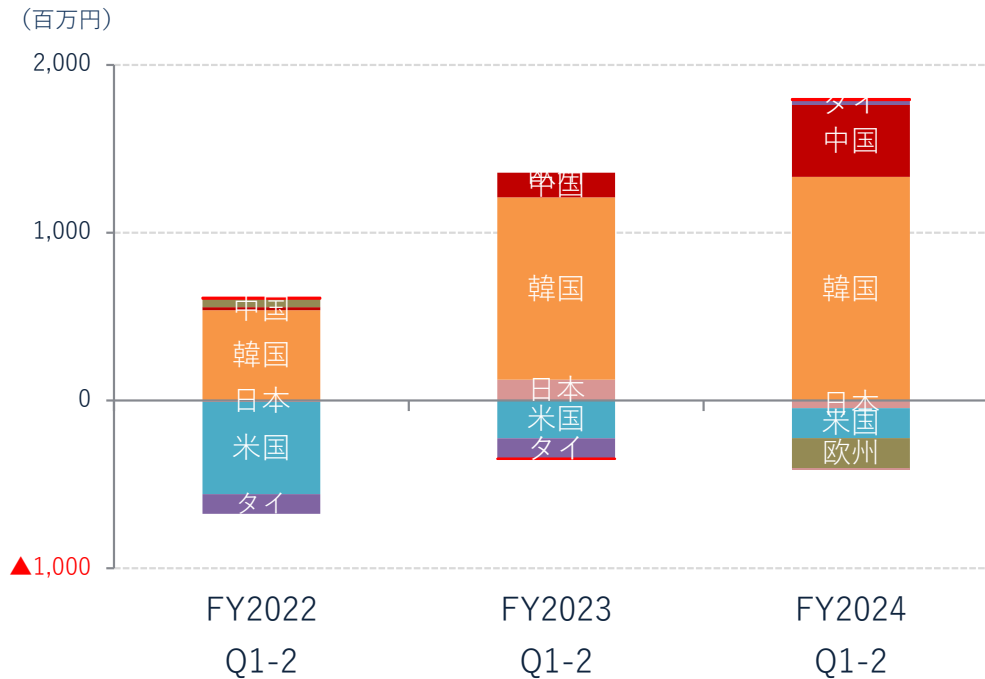
■ 豪州 ■ 欧州 ■ タイ ■ 中国 ■ 韓国 ■ 米国 ■ 日本



連結営業利益



所在地セグメント別の推移



	FY2022上期	FY2023上期	FY2024上期
日本	▲9	124	▲46
米国	▲549	▲226	▲179
韓国	538	1,086	1,333
中国	18	147	428
タイ	▲117	▲122	30
欧州	51	-	▲180
豪州	6	▲1	6
インド	-	-	▲7
調整額	68	13	▲154
連結	7	1,021	1,230

- 日本は補修用部品市場の販売減少に加えて、物流コストの上昇などにより採算が悪化。
- 米国は2023年に設立した製造拠点で関連経費の支出が先行しているものの、販売が開始されたことや、既存の販売会社においてコスト削減努力による改善なども加わり赤字縮小。
- 韓国は量産が本格化するインテグレートッド・サーマル・モジュールなどの電動化対応製品に加えて、既存のバルブスプールなども販売が増加したことなどにより増益。
- 中国は韓国同様にインテグレートッド・サーマル・モジュールなどの電動化対応製品やバルブスプールなどの販売が増加したことなどにより増益。
- タイはコスト削減努力による改善や原材料価格の低下などによって採算が良化。
- 欧州はロシア工場で事業活動を限定的に再開も、在庫評価の見直しを行ったことなどによって減益。

連結営業利益以下の内訳

(単位：百万円)

	FY2023 Q1-2	FY2024 Q1-2	前期比 (増減率)
営業利益	1,021	1,230	208
営業外収益	1,208	950	▲257
(うち為替差益)	(950)	(497)	(▲452) ※1
(うちデリバティブ評価益)	(43)	(116)	(72)
営業外費用	740	793	52
(うち金融費用)	(708)	(747)	(38)
経常利益	1,488	1,387	▲101
特別利益	38	24	▲13
特別損失	168	27	▲141
(うち減損損失)	(163)	(-)	(▲163) ※2
税引前利益	1,359	1,385	26
法人税等	381	497	116
少数株主持分損益	158	463	305
四半期純利益	819	424	▲395

※1

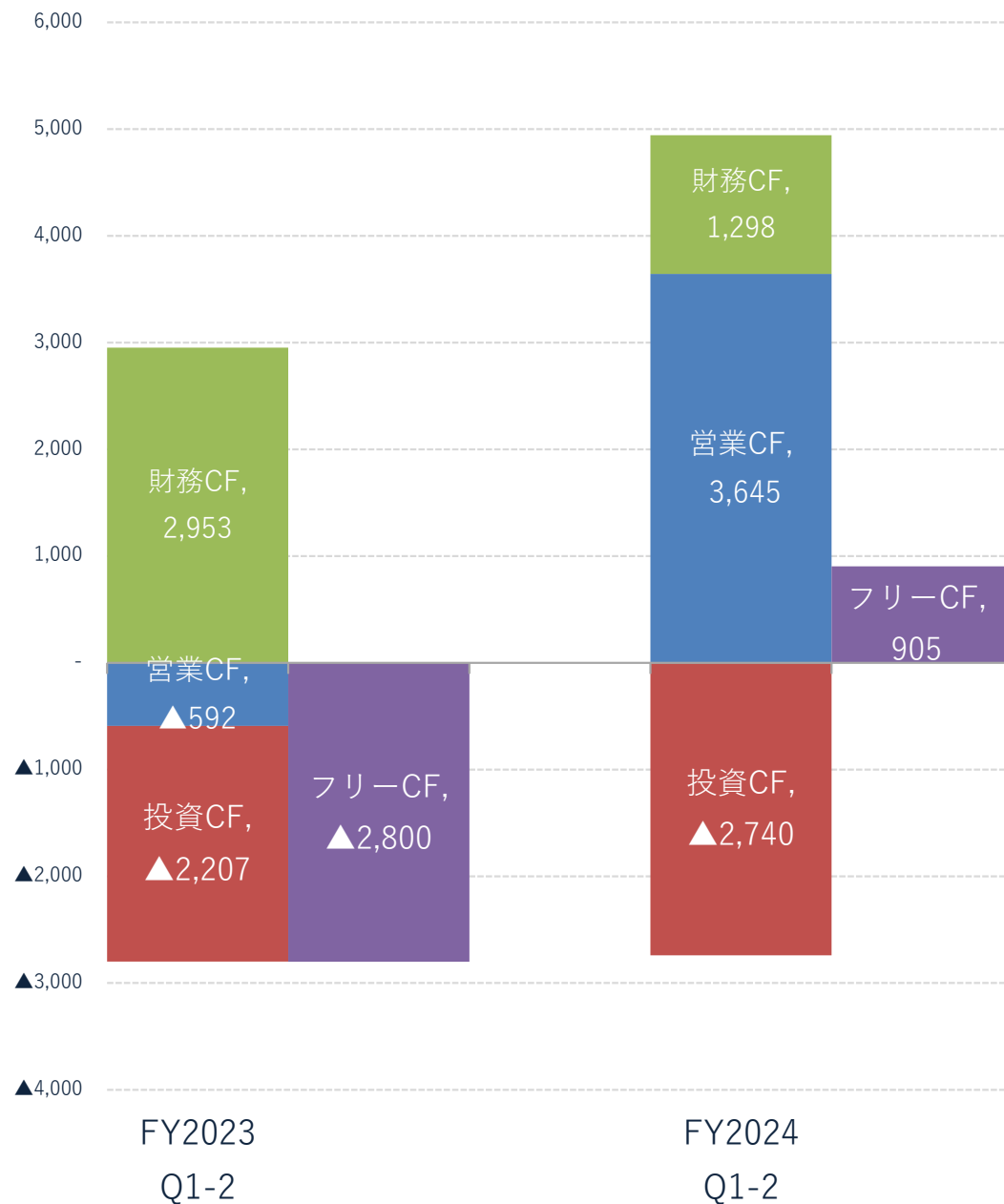
前期は日本において円安に伴う外貨資産評価益を計上。当期は主に海外子会社で為替差益を計上するも全体では前期より減少

※2

前期はロシア工場の事業中断と米国子会社の業績不振に伴う各資産を減損処理

連結キャッシュフロー

(単位：百万円)



FY2024 Q1-2 の主な内訳

● 営業CF

税金等調整前利益	1,385 百万円
減価償却費	1,945
売上債権の増加	▲1,239
たな卸資産の減少	1,644
仕入債務の増加	1,587
為替差益	▲1,157
法人税等の支払	▲503

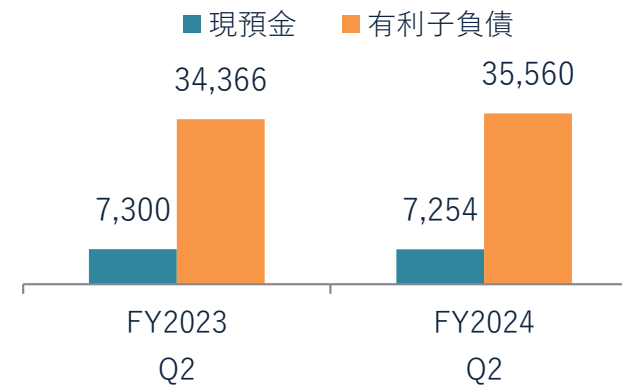
● 投資CF

設備投資	▲2,961
------	--------

● 財務CF

借入金の増加	2,162
リース債務の減少	▲444
社債の償還	▲195

現預金・有利子負債残高



I. 2025年3月期第2四半期実績

II. 2025年3月期通期計画

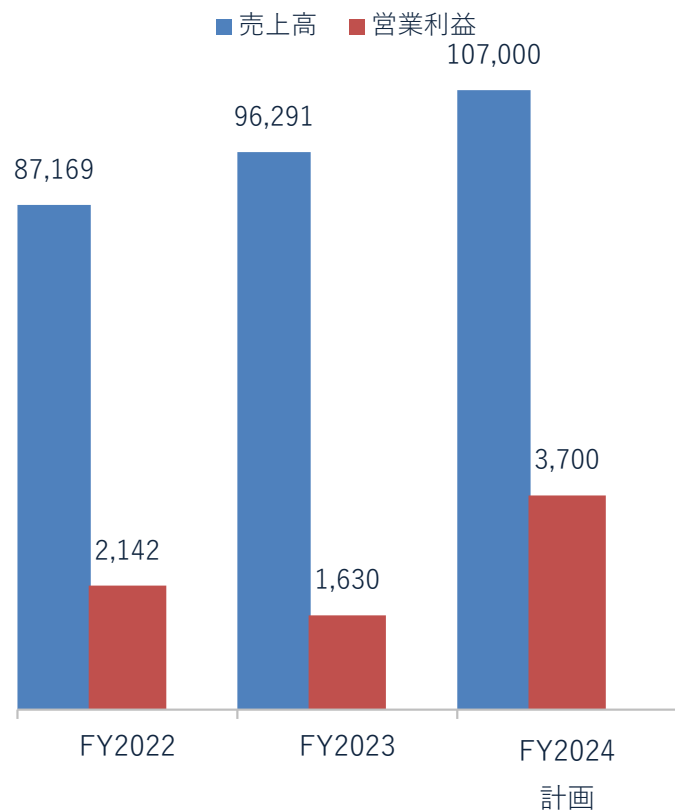
2025年3月期 連結業績計画



- インテグレートド・サーマル・モジュールなど冷却装置部品を中心に新車用部品の販売拡大を図るなどして、連結売上高で初の1,000億円突破を見込む。日本の販売回復の遅れや米国新工場の販売遅れがあるものの、韓国や中国などが販売好調であり、全体の売上高の通期見込みは維持。
- 韓国・中国の販売が好調なことに加えて、コスト削減努力などによって収益力は高まっている。セグメント毎では当初計画からの変動はあるものの、全体の利益の通期見込みは維持。

(単位：百万円)

3年間の業績推移



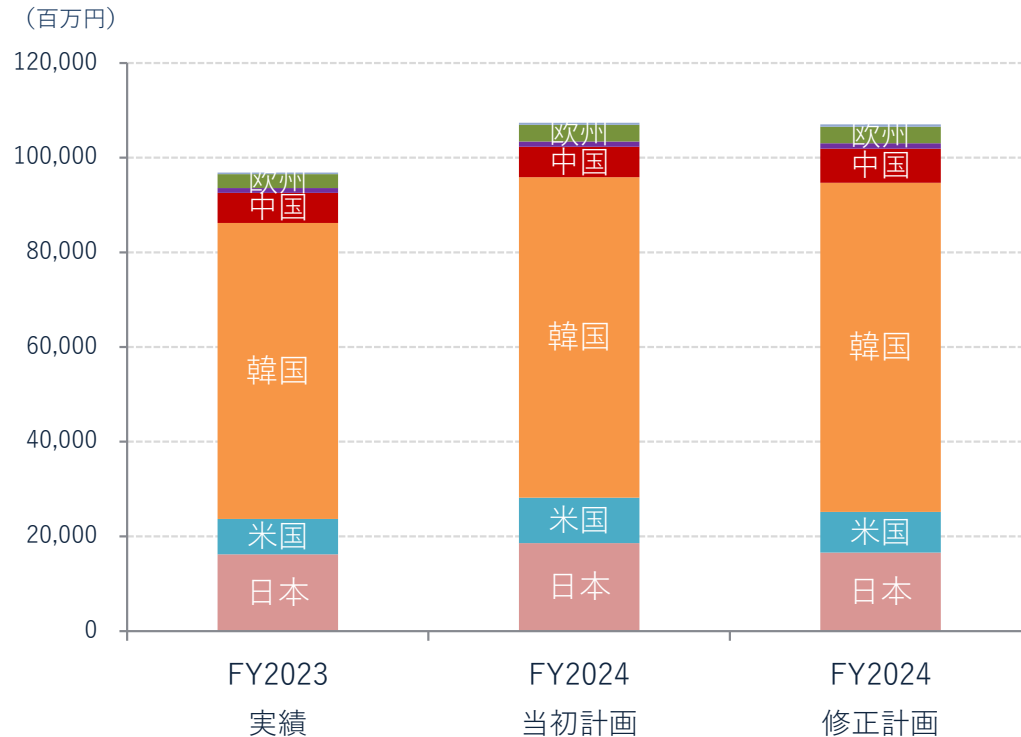
	FY2023 実績	FY2024 計画	前期比 (増減率)
売上高 (同利益率)	96,291 (100.0%)	107,000 (100.0%)	10,708 (11.1%)
売上総利益 (同利益率)	16,673 (17.3%)	19,400 (18.1%)	2,726 (16.4%)
営業利益 (同利益率)	1,630 (1.7%)	3,700 (3.5%)	2,069 (126.9%)
※ (同利益率)	2,735 (2.8%)	3,800 (3.6%)	1,064 (38.9%)
経常利益 (同利益率)	1,328 (1.4%)	2,650 (2.5%)	1,321 (99.4%)
純利益 (同利益率)	408 (0.4%)	1,000 (0.9%)	591 (144.5%)
EPS	77.24	188.85	111.61
換算レートUSD	140.55	145.00	※次ページ参照
換算レートKRW	0.1076	0.1100	

※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

連結売上高計画



所在地セグメント別の内訳



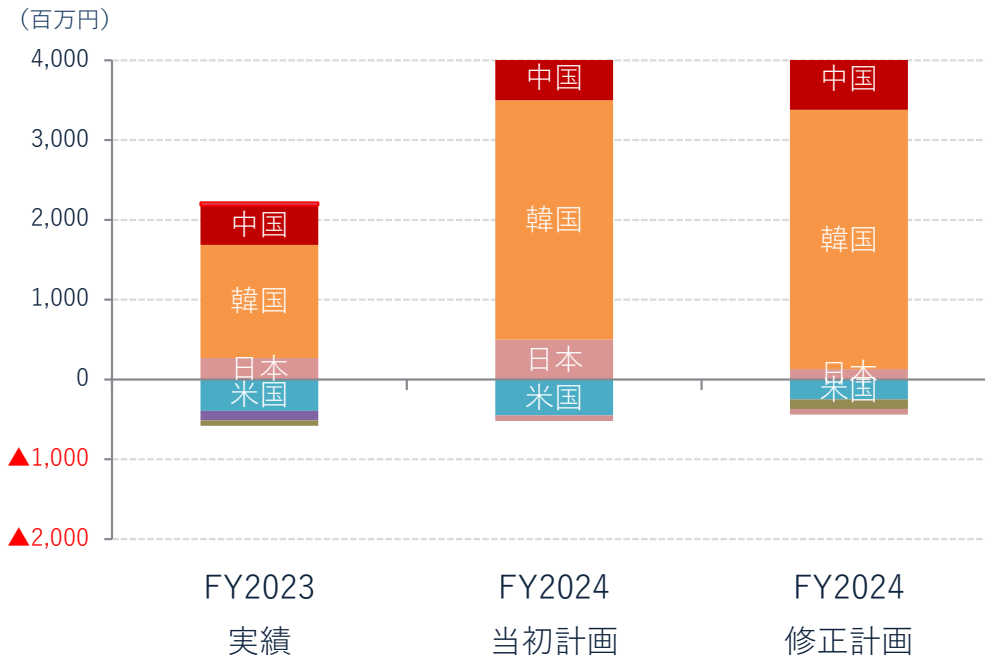
- 日本は、欧州の新車用部品市場での販売は好調だが、海外補修用部品の販売回復が当初想定よりも遅れたことから、ほぼ前期並みの売上に留まる見通し。
- 米国は新工場での販売を見込むも一部スケジュールが遅れており、当初計画を見直し。
- 韓国は量産が本格化するインテグレートッド・サーマル・モジュールを中心に引き続き販売は好調。既存のバルブスプールなども好調で当初計画を上回る見通し。
- 中国ではインテグレートッド・サーマル・モジュールの販売増加に加えて、既存の新車用部品も増加を見込んでいる。

※想定レート&換算レート

	想定レート		子会社（12月決算）の換算レート		
	当初	下期	前期	当初想定	見直後
1USD (円)	145.00	145.00	140.55	145.00	145.00
1KRW (円)	0.1100	0.1100	0.1076	0.1100	0.1100

連結営業利益計画

所在地セグメント別の内訳



- 日本は、販売回復の遅れによる売上減少に加えて、物流コストの上昇などにより、前期及び当初計画から減益を予想。
- 米国は販売会社においてコスト削減努力による改善などにより、当初計画よりも採算良化し、前期及び当初計画から赤字縮小を見込む。
- 韓国は退職給付費用の増減による特殊要因は見込めていないが、現状、コスト削減努力に加え、売上も順調に推移しており、更なる増益を見込む。
- 中国は販売が好調に推移し、利益についても増益を見込む。
- タイはコスト削減努力による改善を行うも、計画よりもグループ向け生産量が減少し、当初計画から減益を予想。
- 欧州はロシア工場で事業活動を限定的に再開も、上期において在庫評価の見直しを行ったことなどにより減益を見込む。

※子会社GMB KOREA CORP.の退職給付債務の数理計算上の差異の影響を除いた場合

連結営業利益以下の計画内訳



(単位：百万円)

	FY2023 実績	FY2024 当初計画	FY2024 修正後計画	増減額
営業利益	1,630	3,700	3,700	2,069
営業外収益	1,328	550	550	▲778
（うち為替差益）	(839)	(-)	(-)	(▲839) ※1
（うちデリバティブ評価益）	(-)	(-)	(-)	(-)
営業外費用	1,630	1,600	1,600	▲30
（うち金融費用）	(1,531)	(1,560)	(1,560)	(28)
経常利益	1,328	2,650	2,650	1,321
特別利益	54	-	25	▲29
特別損失	203	50	75	▲128
（うち減損損失）	(169)	(-)	(-)	(▲169) ※2
税引前利益	1,179	2,600	2,600	1,420
法人税等	585	900	900	314
少数株主持分損益	184	700	700	515
純利益	408	1,000	1,000	591

※1

前期は日本において円安に伴う外貨資産評価益が増加していたものの、当期の外貨換算評価損益の見込みに関しては一旦見込まず

※2

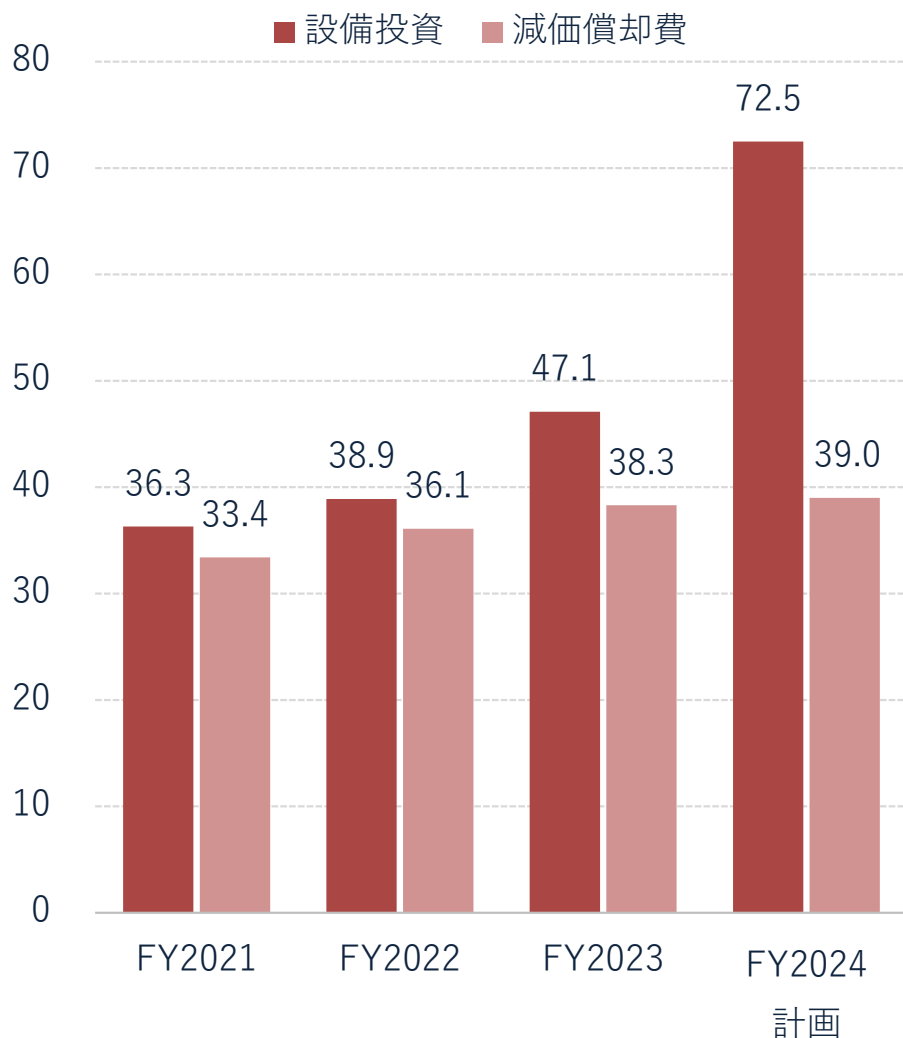
前期はロシア工場の事業中断と米国子会社の業績不振に伴う各資産を減損処理

設備投資と減価償却費



(単位：億円)

設備投資・減価償却費




FY2024設備投資計画の内訳

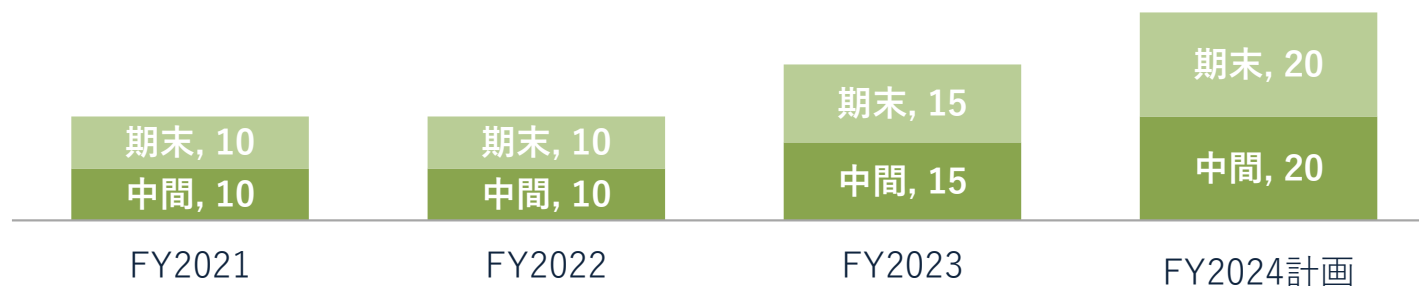
	投資額	主な内容
日本	4.0	維持更新・合理化
米国	1.0	新工場設備
韓国	52.5 (当初42.5)	研究開発施設増設 新規開発・増産等
中国	3.0	維持更新
タイ	3.0	増産・維持更新
欧州	4.5	増産等
インド	4.5	新工場設備
合計	72.5 (当初62.5)	

配当計画

- 「将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、年間40円を最低配当金とし、2026年度までに連結配当性向25%を目標とする配当を実施」へ当期より配当の基本方針を見直し
- 安定配当の水準を引き上げることで株主還元を強化し、期初計画どおり1株当たり40.0円（うち中間配当20.0円）を計画

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024 計画
1株当たり年間配当金 (円)	20.0	20.0	30.0	 40.0
1株当たり連結純利益 (円)	125.4	229.6	77.2	188.9
連結配当性向 (%)	16.0%	8.7%	38.8%	21.2%

1株当たり配当金 (円)





- 将来予想に関連する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえでご利用ください。
- 本資料および当社IRに関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>

G M B 株式会社 経営企画部

Email : ir@gmb.jp